

令和2年11月17日

出雲市長  
長岡秀人様

# 要望書

出雲市認可保育所（園）保護者会連合会  
会長 守谷圭佑

## 子育て支援に関する要望

平素は、当連合会の活動に対しご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
下記のとおり要望いたします。

### 記

#### 第1 子どもの医療費の無償化に関する要望

##### 【要旨】

中学校卒業までの医療費の無償化をお願いいたします。

##### 【内容】

現在、未就学児においては、乳幼児等医療費助成制度により医療費は無償化となっていますが、小学生以上は子ども医療費助成制度により入院に係る費用の負担はあるものの、通院に係る医療費については、助成がない状況にあります。

出雲市におかれましては令和3年4月から、島根県「しまね結婚・子育て市町村交付金事業」のメニューを活用し、小学校6年生まで1割負担（自己負担上限額・通院1,000円、入院2,000円）とすることを検討している、という報道がありました。

保護者としては、医療費の負担が軽減されるので大変ありがたいことではありますが、この取り組みを一步進めて中学校卒業までの医療費の無償化とし、子育てしやすい出雲市を実現していただきたく思うところです。

保育所（園）に在籍する子どもの兄弟姉妹にも小中学生もいることから、当連合会においても各保護者からの意見を貴重なものと考え、要望するに至りました。

前記の趣旨をご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

## 第2 インフルエンザ予防接種費用の助成に関する要望

### 【要旨】

インフルエンザ予防接種費用の助成をお願いいたします。

### 【内容】

毎年冬季に多数の感染者を出すインフルエンザは、免疫力の弱い子どもで特に流行しており、令和元年から2年流行期の出雲圏域では、延べ2,603人の児童・生徒がインフルエンザに罹患し、学校を休んでいます。保育所（園）等に通う園児については、データがないものの、多くの園児が罹患していると推察されます。

この時期、小児科病院には病児が溢れ、夏季には閑散としている夜間・休日診療所も2時間以上順番を待たされ、病児・病後児保育施設もすぐに満員になって利用できなくなるのですが、インフルエンザの流行が要因の一つです。

インフルエンザは、一度罹患すると完治まで5日以上かかり、さらに重篤化すると肺炎やインフルエンザ脳症などの合併症を発症することもあります。発症中には保育所（園）等を休まざるを得ませんが、共働き世帯が多いことから、看護のため長期間、仕事を休む必要があります。さらに、兄弟姉妹が発症すればさらにこの期間は長くなり、勤務先の業務に多大なる影響を与えます。

インフルエンザの予防法としては手洗いなどの一般的な予防法のほか、インフルエンザワクチンの接種が有効です。インフルエンザワクチンの接種では100%予防できるものではないことが問題になりますが、重症化が防げるという点では、十分に効果が認められています。

流行時には学級・学校閉鎖が流行阻止に有効であるものの、事実上休所（園）等措置の取れない保育所（園）等については、インフルエンザワクチンによる予防の重要度が高まってきます。

しかしながら、インフルエンザワクチンは2回接種が有効とされており、その費用が高額であるため、兄弟姉妹のいる家庭においては、その負担は重いものであります。

以上のことから、インフルエンザ予防接種に係る費用の助成をお願いいたします。

## 第3 夜間・休日診療の体制の充実に関する要望

### 【要旨】

夜間・休日診療の体制の充実化をお願いいたします。

### 【内容】

冬季においては、インフルエンザ等の感染症流行期が重なることから、受診者が集

中し、診療までの待ち時間が長時間にわたる状態が続いております。この待ち時間は体力的に辛く、保護者にとっても、一刻も早く楽にさせてやりたいと思う気持ちはご理解いただけるものと存じます。

また乳幼児は、夜間に突発的に発疹や発熱、けいれんを起こすことがあり、夜間・休日診療所の開設時間外となることも多々あります。

そこで、感染症流行期における夜間・休日診療所の開設時間の拡大や複数の医師による診療体制など、保護者が利用しやすいような体制整備をお願いいたします。

小児科医不足の中、人員配置など懸念事項は多々あるとは存じますが、感染症の流行を少しでも抑え、応急処置を求める保護者の心情に寄り添う施策の実現をどうぞよろしくをお願いいたします。

#### 第4 保育士の労働環境の改善に関する要望

##### 【要旨】

保育士の労働環境の改善をお願いいたします。

##### 【内容】

保育士の皆さまにおかれましては、子どもが日々健やかに生活できるようご配慮いただき、大変感謝しております。

さて、今回の新型コロナウイルス等、感染症が発生した際にはご自身の感染の危険性があるにもかかわらず、勤務されておられます。また、近年は保護者の要望が多様化しており、保育以外の様々な業務によりご多忙であることは、我々保護者も推察しているところです。昨今、全国的に勤務条件等のミスマッチから保育士の一斉退職というニュースも耳にすることが多くなってまいりました。

私立保育所（園）の運営はそれぞれの運営団体に任されているところですが、出雲市におかれましても、保育士の皆さまが安心して働き続けられるよう、労働環境の向上及び処遇改善に向けて、保育所（園）が余裕を持った人員配置が行えるよう運営助成の充実を要望いたします。

以上